

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	わだ ゆうすけ 和田 優佑	学校名	いずもしりつしょうばらしょうがっこう 出雲市立荘原小学校
実施学年	第 4 学年	教 科	社会科
単元名	ごみのしよりと利用		

《学びを深めたいポイント》

出雲市のごみの処理の問題を解決するために、出雲市役所がどのような取組を行い、解決しようとしているか調べる学習活動では、ごみ袋やガイドブックといった実物資料を活用することで、実社会にふれることができると考えた。例えば、三年前のごみ袋と現在使われているごみ袋を比較することで、イラストが追加されたり、文字が強調されたりしていることから、ごみの分別をわかりやすくしていることが見えてくる。また、広報やお便りなどでごみを減らすための呼びかけをしていることから、ごみを減らすためには、市民の協力が必要だということが見えてくる。そこから、ごみを減らすために自分ができることを考えようとする児童を育成したいと考えた。

《SKYMENU 活用のポイント》

第 12 時の調べる学習活動では、個別最適な学びが実現できるよう様々な実物資料を用意した。ごみ袋、分別カレンダー、分別ガイドブック、ごみの分別アプリのお便り、古着市をお知らせする広報、リサイクルを勧める Web サイトなど子どもたちが自分の問いを解決するために合った資料を選べるようにしている。「実物資料による調べ学習」と「個別最適な学び」が実現できるよう、SKYMENU の発表ノートを活用した。発表ノートの資料置き場に実物資料を置くことで、児童は自分が調べた資料を取り出し、気づいたことを言葉で表現し、まとめることができた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	①「家庭でのごみの出し方インタビュー」や「ごみの分別カレンダー」から、ごみが分別されていることを知る。 ②「ごみ収集車の写真」から予想することで、「分別して出され、収集されたごみは、どのように処理されているのだろうか」という学習問題をつくる。	○タブレットPCを持ち帰り、家庭で処理に困っているごみを SKYMENU の写真機能で撮影し、全体共有できるようにする。	
	③出雲エネルギーセンター（もえるごみの清掃工場）見学の計画		

展
開

を立てる。全体で話し合い、自分が解決したい問いを「はてなカード」にまとめる。

④出雲エネルギーセンターにて、もえるごみの処理の様子を見学する。

⑤見学で分かったことを話し合うことで、出雲エネルギーセンターでは、高熱で適切にごみを処理していることを知る。

⑥見学で分かったことを話し合うことで、出雲エネルギーセンターでは、燃やすときに出てきた灰や蒸気、排ガスを適切に処理したり、活用したりしていることを知る。

⑦出雲クリーンプラザ（もえないごみの清掃工場）見学の計画を立てる。全体で話し合い、自分が解決したい問いを「はてなカード」にまとめる。

⑧出雲エネルギーセンターにて、もえるごみの処理の様子を見学する。

⑨見学で分かったことを話し合うことで、出雲クリーンプラザでは、もえないごみを適切に処理したり、リサイクルしたりしていることを知る。

⑩出雲市は、リサイクルをどのように進めようとしているか調べる。様々な資料の中から、地域にあるお店やコミュニティセンター、学校でリサイクルがされていることを知る。

⑪ごみがきちんと分別されていないことから生じる火災やごみの量が増加していることがわかる資料から、出雲市が抱えるごみ処理の問題を知る。

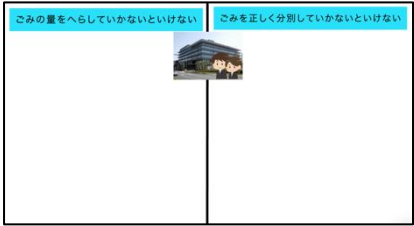
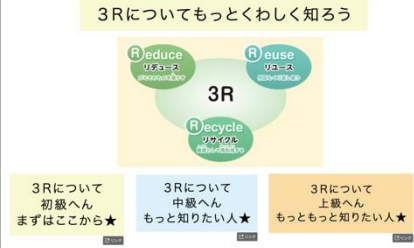
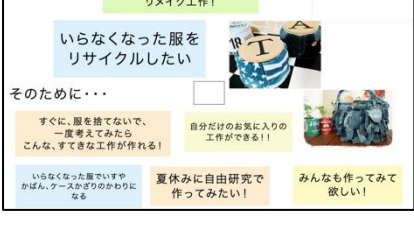
○タブレットPCで、見学の様子を撮影し、写真を提示しながら、説明できるようにする。

○タブレットPCで、見学の様子を撮影し、写真を提示しながら、説明できるようにする。

発表ノートに地域の中にあるリサイクルを進める取組の資料を入れておく。



○グループワーク機能を活用し、自分が注目した資料を持ち寄り、交流できるようにする。

	⑫出雲市のごみの量を減らす取組やごみを正しく分別してもらうための呼びかけの取組がわかる資料から、出雲市がごみ処理の問題をどのように解決しようとしているかを知る。実物資料から調べ、発表ノートにまとめる。	◆児童に配布した発表ノート  ◆児童が作成した発表ノート 	○資料置き場に実物資料と同じ画像を置くことで、文字を加えて、まとめることができるようにする。
まとめ	⑬Web サイトの資料から、ごみを減らすための3Rの事例について知る。 ⑭ごみを減らすために、自分ができることを考え、発表ノートにまとめて、一人一人発表を行う。	3Rについてもっとくわしく知ろう  3Rについて 初級へん まずはここから★ 3Rについて 中級へん もっと知りたい人★ 3Rについて 上級へん もっともっと知りたい人★ 余ったペットボトルの3R 余ったペットボトルを使う、役立つ物にしたい！ そのために・・・  余ったペットボトルは捨てずにリサイクルに出す。リサイクルに！ 穴をあけたらむしろかごにもできる！ いらなくなった洋服でリメイク工作！ いらなくなった服をリサイクルしたい そのために・・・  すぐに、服を捨てないで、一度考えてみたらこんな、すてきな工作が作れる！ 自分だけのお気に入りの工作ができる！！ いらなくなった服でいすやカバン、ケースなどのかわりになる 夏休みに自由研究で作ってみたい！ みんなも作ってみたい！	○リンクを複数設定し、自分の進捗に合わせて、3R を調べることができるようにする。 ○グループワーク機能を用いることで、同じテーマで考える児童を互いに閲覧し合えるようにする。

＜実践を振り返って＞

SKYMENU を活用することで次のような効果を実感することができた。

①途中で閲覧し合うことができる。

自信のない児童や、理解度に差がある児童がいるものの、グループワークを行うことで、一人一人が学びに向かえることができたと感じる。自信のない児童は安心感を得ることで学びを進めることができた。理解度に差がある児童は他の児童と学び合うことで学びを進めることができた。

②教員が児童の進捗をタイムリーに確認し、意図的指名を行うことができる。

個別最適な学びを実現する中で、資料がどうしても多くなる。短い時間の中で児童の進捗を見取る必要があるが、SKYMENU を活用することで、タイムリーかつ一目で把握することができる。意図的指名を行うことで、ねらいに向かうことができたと感じる。